



平成30年7月豪雨（西日本豪雨） 大雨が総社を襲う

活発な梅雨前線の影響により7月5日から7日にかけて豪雨が発生。総社市内は過去に類を見ない被害に見舞われました。この豪雨で、市内で4人（総社市民は2人）が亡くなっています。

平成30年7月豪雨により被災された方に対して心よりお見舞い申し上げます
総社市は1日も早い復旧に向けて全力を尽くします

政治や行政は弱い立場の人のためにあります。被災者のことを一番に考えて支援の手を差し伸べてまいります。

現在、被災者のために全力で支援にあたっています。総社市の最速の復旧を念頭に行動してまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

総社市長

片岡 聡一

この度の災害により、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

市議会といたしましても、被災された市民の皆様へ寄り添い、皆様が一日も早く普段どおりの暮らしを取り戻せるよう、地域の復興に全力で取り組んでまいります。

総社市議会議員

加藤 保博

牙をむく高梁川

6日夜、日羽の国道180号が冠水したため封鎖に向かった作業員14人が、高梁川の水位が上昇したことで孤立。そのうち2人が行方不明に。下倉（草田）でも、農機具倉庫の様子を見に行った男性が、堤防から越水して流れ込んだ濁流の犠牲になった。

【り災証明書発行件数】

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
85	138	346	313

8月8日現在

